

希望研修：動植物観察 長瀨岩畳と宝登山で動植物の研修を行う

6月4日(日)9:00~14:30に高校生と教員のための動植物研修会が長瀨岩畳と宝登山山麓で実施されました。秩父鉄道長瀨駅集合・解散で、観光客で混雑している中での研修会でした。岩畳では、結晶片岩を観察、岩畳の上にある四十八沼の水生生物の観察を行いました。宝登山山麓に場所を移して、食事後、中腹まで登山道を登りながら林道沿いの動植物の観察を行いました。

参加者は教員が春日部高校・越谷北高校・杉戸農業高校・熊谷西高校各1名ずつ4名、生徒は熊谷西9名、越谷北高校1名の10名、合計14名の研修会でした。

こんな生物たちが



みやげ店街のツバメの巣



ハチかハエかアブか?
↑答え



フタバハギの花

今回の研修を通して、長瀨の川辺や山の植物や動物などの生態がよくわかりました。特に山には少し歩くだけでもたくさんの種類の虫や植物を見ることができました。

生き物に詳しい他校の先生から貴重なお話を聞くことができました。また、本校の先生からは、たくさんの植物のお話だけでなく、長瀨の石畳の成分や、山の調査方法なども学ぶことができ、とてもためになる講習でした。(1年男子)

まずは岩畳の動植物観察



変態中のウシガエル



イトトンボの仲間

岩畳で見たウシガエルの変態が印象に残っています。普段見るアマガエルでは、おたまじゃくしと成体との大きさの区別がよくわかりませんが、ウシガエルは大きいので、おたまじゃくしの大きさの区別がはっきりわかり、実際に見て、おたまじゃくしが成体になるにつれて、小さくなっているのを実感することができて、とても驚きました。(1年男子)

岩畳の上にある人工的に見える穴は自然にできたのだとは思いませんでした。どう見ても私には人が手をくわえたものにししか見えなかったのでもって驚きました。他にもお土産店の並びの店の屋根にツバメの巣が大変沢山あり、都心から離れて、どこに行ったのかと思っていたのに...



岩畳にある48沼



岩畳で岩、動植物、地衣の観察



ポットホール(かめ穴): 中に礫が入り水流でk回転して掘られる

(2年女子)

宝登山ではシカの声が頻繁に聞こえ



石畳にどのような生物がいるのかわかりませんでした。実際にウシガエルの幼体やアマガエルなどがいました。とても自然が豊かで、川の水や山などがきれいでした。宝登山はとても自然が多く、様々な植物がありました。けれど、石畳と宝登山の両方に外来種がありとても驚きました。このような場所



にまで外来種のおオキケンケイギクなどが生育していました。どのようにしたら、外来種問題がなくなるのか考えてみたいと思いました。今の森は五年後にはもう見られないかもしれないという話を聞き、どのようにしたら、未来に今の状態の森を残していけるのかを考えてみたいと思いました。(2年女子)

編集後記

林道を歩いていると甲高い鹿の鳴き声が聞こえました。「シカの食害で、五年後、林床の植物がなくなってしまうかもしれない。」と生徒に大げさに言いました。ちょっとやや傾斜の少ない森に林道から入ってみると、林床の植物の少ない場所が実際にありました。教員参加者の藤森先生(春日部東)も、今年行った三峰山では、ほとんど林床の植物が生えていないとおっしゃっていました。動物の中川先生(越谷北)も林床植物が減ると昆虫などの動物も減ってしまう。今日の観察を大切にしたいとおっしゃっていました。(文責:三上)